

探究協働会議

- ◆2年国際探究科 第1回 5月22日
第2回 10月23日
- ◆2年理数探究科 第1回 7月10日
第2回 10月30日
- ◆2年普通科理系・2年普通科文系 第1回 7月22日
第2回 10月28日

生徒が取り組んでいる課題研究のテーマや手法に対してそれぞれ講師を招きました。第2回では、第1回でいただいた助言をもとに活動した成果を各研究グループごとに発表し、講師から研究をさらに深めていくための助言をいただきました。



サイエンスダイアログ

- ◆第1回 5月22日 理数探究科
- ◆第2回 11月9日 国際探究科

2年生の生徒対象にサイエンスダイアログ(英語での科学講義)を開催しました。

第1回はオンラインでの開催でした。京都大学 Bin Wang 博士をお迎えし、「地震と耐震構造」についてご講演いただきました。

第2回は京都大学 Iqra Anugrah 博士をお迎えし、「インドネシアの社会科学と農村生活の紹介」についての講義を受けました。生徒も積極的に質問し、英語によるコミュニケーションをしました。



【桂田農園】

2年理数探究科の桂田くん、兼田くん、百田くんが会社組織として立ち上げた「桂田農園」を福井新聞が大きく取り上げてくださいました。

探究科学IIの授業から派生し、2020年6月に個人事業主を税務署に申請し、正式に会社として経営しています。これまで、若狭町周辺の耕作放棄地を活用し、一寸空豆生産、バジル生産を手がけており、生産したバジルをバジルソースに加工・販売し、生産したバジルをピザ屋「ウッディパパ」に卸しています。その他、若狭チャレンジ協議会主催の熊川宿「SOL'S MARKET」にバジル販売で2度出店しました。

地域の方から学ぼう

- ◆第1回 7月15日
- ◆第2回 11月11日
1年生の生徒対象に地域の方から学ぼうを開催しました。小浜市・おおい町・高浜町・若狭町・若狭歴史博物館・小浜市議会・若狭高浜病院の担当者の方々をお招きし、「探究I」(普通科)、「探究科学I」(文理探究科)、「海洋探究I」(海洋科学科)における課題発見の一助とします。第2回では、生徒自身が現在進めている探究活動についてプレゼンテーションし、講師の方々からご助言をいただきました。



福井大学附属国際原子力工学研究所訪問研修

10月20日、1年文理探究科希望者33名の生徒、11月14日、2年普通科希望者37名の生徒が福井大学附属国際原子力工学研究所にて訪問研修を実施しました。

10月20日は、講師として福井大学 泉佳伸教授の環境エネルギー分野の講演や実習を通して、放射線についての理解を深めました。また、今後の探究科学Iで問を立てる参考にしました。

11月14日は、講師として福井大学 松尾陽一郎准教授、ファンローイエンウェイレム准教授が環境エネルギー分野の講義をしてくださいました。福井大学大学院生による実験の見学もあり、日本の原子力・エネルギー問題に対する現状と課題について理解を深めました。本校生徒は、探究IIでの研究の成果を発表させていただき、助言をいただくことも出来ました。



福井県立若狭高等学校

SSHだより

[HP] <https://www.wakasa-h.ed.jp> [E-mail] ssh@wakasa-h.ed.jp

Vol.25

2020.12

平成29年度文部科学省からスーパーサイエンスハイスクール(SSH)第2期の研究指定を受け、4年目の活動を始動しております。今年度は、COVID-19の影響を受けZOOMでの取り組みとなった講義等、前半から秋にかけて行われた事業を中心に紹介したいと思います。

若狭高校 東京大学と海洋教育で連携協定を締結！！

7月10日、オンラインにて、若狭高校と東京大学が改めて連携協定を締結する締結式が行われました。2014年6月に若狭高校は東京大学海洋アライアンスと連携協定を結び共同研究を続けてきましたが、今回東京大学の機構改革により新たに発足した「東京大学大学院教育研究科附属海洋センター」と改組されたことにより、改めて共同連携協定を締結。

東京大学が若狭高校「理数探究科」・「国際探究科」・「海洋探究科」・「普通科」の課題研究をご支援くださいます。海洋分野を題材としたカリキュラムでは、若狭高校と東京大学が共同開発し世界に発信していきます。

締結式では、本校、中森校長は「海洋教育の拠点校に向けた第一歩」と期待感を示しました。福井新聞の取材に応じた、東京大学 川上真哉特任研究員は「理科を題材にした授業のカリキュラムや生徒への指導方法を共同開発し、全国に発信したい」と連携の狙いを説明していました。



2030年の教育を考える「世界教育会議」に参加しました！！

5月19日・20日と、2日間にわたりOECD主催のオンライン世界会議が行われました。同会議は、世界各国の政府代表者や研究者、教師や生徒、企業や団体が参加する国際会議です。今回は新型コロナウイルス感染症の影響によりWeb会議システムを通じて行われ、約30の国と地域から約290人が出席しました。本校からは、3年国際探究科・理数探究科・普通科から5名が参加しました。生徒たちは、教室に設置したパソコンからインターネットを通じて会議に参加。各国の参加者とともにグループに分かれて、新型コロナウイルスの影響下での学習における現状や課題、その解決方法について、英語で意見を交わしました。



学校教育の課題探る オンライン世界会議 若狭高生徒ら議論



オンラインで世界教育会議に参加する生徒=小浜市の若狭高校で

◦ ◦ 受賞・参加記録 ◦ ◦

地学チーム最優秀賞！！

9月20日、武生高校で開催された「ふくい理数グランプリ本選」において、本校の地学チームが最優秀賞に輝きました。

本校からは23チーム68名が参加し、2年理数探究科の高木大成くん、竹村侑己くん、東野太郎くんの地学チーム「GIFTERS」が最優秀賞、同2年理数探究科の桂田陽向くん、田邊大貴くん、吉村好生くんの物理チーム「MKOステップス」が優秀賞を獲得しました。

日頃から科学的思考力を高めている成果を十二分に発揮してくれました。



日本地球惑星科学連合大会

7月12日に開催された「日本地球惑星科学連合大会」において、2年理数探究科の高木大成くん、吉村好生くん、田中萌々花さん、松岡亜弥音さん、山口千晴さんの「放射線を用いた効率的な地質調査法とその評価」チームが佳作をいただきました。iPosterを使い発表資料をまとめ、大会ポータルサイトでの発表でしたが、学会参加の科学者の方々から多くの専門的なアドバイス・コメントをいただく事ができました。



海ごみゼロアワード2020

9月14日「海ごみゼロアワード2020」の授賞式がオンラインで開催され、本校のマイクロプラスティック研究チームがアクション部門においてAEPW賞を獲得しました。



・SSH生徒研究発表会

8月7日～28日、オンラインにて開催された科学技術振興機構主催の全国発表会に本校生徒代表として3年理数探究科 島津海晴さん・福永朋子さんが「カカシの効果検証」をテーマにオンラインにて出場し発表しました。

・生徒国際イノベーションフォーラム ライブトーク

8月11日・12日、オンラインにて開催された生徒国際イノベーションフォーラムに3年普通科・国際探究科・2年国際探究科の生徒が10名参加しました。世界の高校生と Well-being について議論を深める貴重な体験をしました。

・香川県立観音寺第一高等学校 FESTAT2020

9月13日、2年理数探究科3グループが、グループセッションに参加しました。

・物理チャレンジ

7月12日

・日本情報オリンピック

9月19日

・化学グランプリ

10月25日

・生物学オリンピック

11月1日



フィリピン デラサルリパ高校 研究交流

5月29日、デラサルリパ高校の生徒10名と本校3年国際探究科生徒25名との間でZOOMを利用した研究交流を行いました。

この会の目的は互いの研究を発表し、質疑応答することでグローバルな視点で自分たちの研究を深めることにあります。自分たちが行ってきた探究学習の質について語り合うことで、生徒はお互いの探究学習をより理解し、自分の学習の意味をより認識するようになりました。当日、両校の生徒は全て自宅からこの活動に参加しました。一人一人、自分のデバイスで参加することで、より集中して考えられたようです。通常の過密な学校の時間割では、互いのスケジュール調整が難しいのですが、今回休校期間という状況を活用して、交流活動が実現しました。



【研究交流に参加した生徒の感想】

- ・1つの探究でいくつもの課題を解決することが望めるものだったので、すごいなと思いました。
- ・自分と同じようなテーマで探究をしている人のプレゼンが聞けて良かったです。
- ・自分たちの探究や、自分の英語力を見つめ直すいい機会になりました。

国際探究科サマーセミナー

8月4日、1年文理探究科の国際探究科希望生徒・2年国際探究科生徒対象に、サマーセミナーを実施しました。講演会講師として、経済産業研究所 国際広報ディレクター 佐分利応貴氏、appReciate 合同会社 代表 杉浦いちこ氏にお越しいただき、国際探究科の学びに対する自主的・主体的な態度を育成し、必要な思考力・判断力・表現力の資質・能力を高めました。学年を超えた学科の生徒同士の連携も深めることができました。



3年国際探究科 探究クロスセッション ～3年生、1年生に探究を語る～

7月10日、3年国際探究科生徒たちの探究を1年文理探究科生徒に語る、探究クロスセッションを実施しました。国際探究科の3年生が、個人やチームで取り組んできた9つのテーマに関する探究学習の成果を1年生に向けて発表しました。3年生と1年生が意見を交わし、今後行う探究学習の課題設定に役立てました。



【3年生の発表を聞いた1年生の感想】

- ・まだ探究の学習は始まったばかりで何をするのかとか全然分かっていなかったけど、先輩の発表を聞いて流れを掴むことができました。こんな風にしたいなという思いからテーマを立て、そのテーマを解決するためにアンケートやインタビュー・実態調査を行ったり多くの過程がありました。私も興味のある事について頑張って楽しく探究していきたいです。
- ・私はまだ探究したいものが見つかっていないけど、3年生のような探究ができるようになります。もし思いつかなかったら、3年生の探究テーマを引き継げたらいいなと思います。また、探究活動を通して周りを見る力をつけたり、社会に貢献できる人になりたいです。

理数探究科サマーセミナー

8月3日、1年文理探究科の理数探究科希望生徒対象に福井県年縞博物館および若狭三方縄文博物館にてサマーセミナーを実施しました。講師として立命館大学古気候学研究センター 中川毅教授、北場育子准教授にお越しいただきました。世界の標準時計となつた水月湖の年縞に関する講義・実習や博物館の見学をし、後期にスタートする課題研究に向け地域資源・研究について学びました。

